

第34期「筑豊ゼミ」報告書

2021.04 ~ 2022.03

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター



筑豊ゼミでは、**地域住民**と近畿大学産業理工学部をはじめとする**地域の大学**が協同して地域づくりに関する活動を行うことで、生涯学習の場の提供や地域活動グループのネットワーク化促進・新しい将来像の形成・地域経済の健全な発展のための**仕掛けづくり**を行っています。

はじめに

第 34 期（2021.04.01～2022.03.31）も第 33 期に続き、2020 年の初頭から広がりはじめた新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた 1 年となってしまいました。

福岡県でも「福岡コロナ警報」が発動され引き続き、人々の行動や経済活動に制限がかけられました。身近な人が感染や濃厚接触者になってしまったということも珍しくない状況となってきています。

変異株の出現や感染の波が何度もあり、新型コロナウイルス感染拡大防止の指針に沿った行動をすることが求められ、対面での会議や活動が制限や自粛となり、筑豊ゼミの各研究会の活動や運営会議が思うように行えない状況となってしまったことを報告します。

今後、新型コロナウイルスの状況の予測がつかないなか、その時の状況に応じて、できるかぎり感染対策を取りながら筑豊ゼミの活動を模索していきたいと考えています。

報告書 目次

1. 第 34 期 筑豊ゼミ運営委員会の活動状況	P.02
2. 第 34 期 筑豊ゼミ開講式	P.02
3. 第 34 期 研究会活動報告	
01.市民遺産研究会	P.04
02.古代のロマンに酔う研究会 ~遠賀川上流古代祭~ヒミコを捜そう~	P.08
03.住み続けたいまち・住んでみたいまち ~勝手に提案研究会	P.13
04.つかこうへいと筑豊研究会	P.17
05.情報発信/データデザイン研究会（pdd 研）	P.19
4. 地域づくりセミナー報告	P.20

1. 第 34 期 筑豊ゼミ運営委員会の活動状況

新型コロナウイルスの影響下により、今年度は以下のとおりの開催となりました。

- ・運営委員会：2021年4月、7月、8月、12月、2022年1月、3月に開催
⇒ その他の月は、新型コロナウイルス等の影響により中止

- ・ 2021.05.12～06.20：緊急事態宣言(第3次)
- ・ 2021.06.21～07.11：まん延防止等重点措置 (福岡市北九州市久留米市)
- ・ 2021.07.28～10.14：福岡コロナ警報発令
- ・ 2022.08.02～ :まん延防止等重点措置 (福岡市北九州市久留米市)
- ・ 2021.08.05～ :福岡コロナ特別警報発令
- ・ 2021.08.20～09.30：緊急事態宣言(第4次)
- ・ 2022.01.24～01.26：福岡コロナ警報発令
- ・ 2022.01.27～03.06：まん延防止等重点措置
- ・ 2022.03/7～発令中(県 感染再拡大対策期間～4/7)：福岡コロナ警報発令

- ・第 34 期 筑豊ゼミ 開講式 ⇒ 2021.04.15 に開催
- ・第 34 期 筑豊ゼミ 修了式 ⇒ 2022.04.22 に開催予定

2. 第 34 期 筑豊ゼミ 開講式

2021.04.15 (木) 19:00 より飯塚市民交流プラザ (つなぐカフェ@飯塚) にて、第 34 期筑豊ゼミ開講式を行いました。



新型コロナウイルスの影響により、第 33 期修了式が行えていない状況であったため、第 34 期筑豊ゼミ開講式にて、第 33 期活動報告を各委員会の紹介と兼ねて行うこととしました。

今期は、5 つの研究会で活動を行っていくこととなりました。



祝辞：

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター

小野理事長

市民遺産研究会 白神会長



古代ロマンに酔う研究会 藤江会長



つかこうへいと筑豊研究会 池田会長



情報発信/データデザイン研究会（pdd研）

吉田 会長



今期も、状況が許すなかでの活動となりますが、「筑豊ゼミ」の歴史を踏まえ「住学協同機構」の精神を持って、第35期も各研究会とも活動を推進していきます。よろしくお願いいたします！

NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター：www.chikuhou-jugaku-wp.org

01. 市民遺産研究会

会長：白神 精一

第34期もまた、コロナ禍のため、市民交流プラザを含め、ほとんど開催できませんでした。

交流プラザが使用できる場合でも、初回を除き、会長が出席できない場合が多く、事前に話し合う内容を提示する議論が進まなかったこと、市民遺産を調査研究する案も出たが、天候不良や会員の都合がつかなかったり、開催できなかったことは残念です。11月の定例会では、コロナも収まりつつあることから、12月に、嘉麻市鮭神社「献鮭祭」に参内することとした。

12月定例会(12月13日9:30 現地集合、嘉麻市鮭神社：嘉麻市大隈)

「献鮭祭」とは、鮭を神の使いとして奉納する鮭神社(嘉麻市)のお祭りです

お祭りは10時過ぎ開始の予定で、私たちが到着した時には、氏子の皆さんや地域に方々が準備されていました(頂いた黒田武士の「甘酒」はうまかった)。



10時を過ぎると、地域住民はもとより、遠賀川源流サケの会、遠賀川流域住民の会、龍王・山・里・川の会など関係団体(*)や報道機関等で溢れてきました。



また、飯塚歴史資料館館長島田光一さんとそのお友達で、日本にもう一つある鮭神社（島根県雲南市）の関係者の方、九大大学院工学研究院環境社会部門の准教授など多彩な方々が参列されました。11時ごろには境内いっぱいの人、蜜が心配なほど！

神主による祝詞、宮総代の拝礼や関係者による玉串の奉納など、拝殿での一連の神事が済むと、今年遠賀川を遡上してきた三匹のうち一匹と、北海道の稚内などから直送された計四匹が境内にある鮭塚（右写真）に奉納され、五穀豊穰と水産関係者の安全祈願などが執り行われました。

献鮭祭の式典はテレQとRKBで夕方の地方のニュースとして放送され、特にRKBでは会員の千代田さんが大写しでしっかりと確認できました。

今後、夕飯で「サケの塩焼」が出た時にはこの日のことを思い出しながら、食べたいと思います。

冬のこの時期としては、穏やかな天気にも恵まれ、貴重な体験をしました。



*) **遠賀川源流サケの会**：鮭のふ化・育成・放流を通して、昔のように遠賀川に鮭が戻ってくるような美しい清流作りをめざすボランティア団体です。サケの“ふ化から放流まで”の他“鮭の遡上記録”をホームページ(<https://onga-sakenokai.jimdofree.com/>)に公開しています。それを見ると、昭和50年代に3回、平成に入るとほぼ毎年遡上していることは活動の成果ですね。大正15年11月3日穂波川で捕獲された鮭のホルマリン漬を飯塚小学校が保存されているとは、びっくりです。

遠賀川流域住民の会：遠賀川が大好きです。遠賀川の情報を収集し、発信しています。ホームページの2021年献鮭祭(<https://onga61.com/2021kenkensai/>)に動画(YouTube)があります。

龍王・山・里・川の会：遠賀川源流水系の山・里の保全と河川の環境保全活動を健常者・高齢者・障がい者が一緒に活動することで、ユニバーサル社会を実現したい。

山下末廣(記) 千代田南子(写真) 菊川清(一部写真と追記) 佐野忍

02.古代のロマンに酔う研究会

会長：藤江 文雄

遠賀川流域が古代文化で栄えた地域であることを全国的に広める。

また、学究的な研鑽を積みながら、色々な催し物を企画し、歴史の嵐を吹かせなければと想っています。

※遠賀川上流古代祭り実行委員会(団体会員)が運営している研究会

遠賀川上流古代祭～「ヒミコを捜そう～」 趣意書

趣 旨

響灘から嘉穂盆地に至る遠賀川流域は、先史・縄文・弥生から古墳時代にかけての遺跡・遺物が数多く、それらが調査、発掘、研究され貴重な遺産として確認されています。

また、当時の地形を観ると直鞍地域まで入り込んでいた、響灘から内部に伸びる遠賀川の水運。続いて冷水峠を越えて朝倉地方に通じる南北の交通路。他方、須玖・筑紫方面からしょうけ越えを経て筑穂地域、庄内から烏尾峠を越えて田川、次いで仲哀峠を越えて宇佐地方へと通じる東西の陸運。この二つの交通路が交差する嘉飯桂地域は当時の重要な交通の要衝であったと推測されます。

当遠賀川流域地域では立岩遺跡から発掘された前漢鏡をはじめ多くの埋蔵物、寺山古墳、川島装飾古墳、小正古墳、王塚古墳や沖出古墳等々の古墳群。立岩遺跡の石包丁、井手が浦窯跡など多くの遺跡、埋蔵物が発掘されています。また、この地域に棲む人々の炭水化物供給地となる嘉麻・穂波の稲作地域。タンパク源を供給する遠賀川の魚介類、盆地を囲む山野の動物資源。生産活動では青銅器・鉄器の加工製造、石庖丁や各種土器の製造、それらをもとにした交易。これらを総合的にみると古代の遠賀川流域には多くの集落が存在し、活発な生産・交易活動、文化活動が展開されていたことが推測されます。

また、遠賀川下流域は日本の稲作の発祥地と言われています。その上流に位置する嘉麻、穂波の豊かな稲作地域は、後に大和朝廷によって屯倉が置かれるほどの豊穡の地でありました。

特に嘉麻、穂波川が合流する周辺地域は、古代の豊かな文明を興した地域であり、日本の黎明期を支えた一つの地域だと考えられます。加えて、「魏志倭人伝」に記載されている不彌国は当地域ではないかと推測されます。

以上のような状況から 邪馬台国や卑弥呼が実際に存在していたとするならば、遠賀川流域は邪馬台国や卑弥呼に大いに関係があったのではないかと推測されます。

このことから、

- ①当地域の古代歴史文化遺産の価値を再認識し、嘉飯桂地域が持つ潜在的可能性を顕在化し、当地域を中心とした母なる遠賀川流域の蘇生・創生・活性化を図り、多くの来訪者を迎える。
- ②当地域で生まれ育ち、居住した子ども達や住民が、地域に対する誇りを持ち、帰属意識、郷土愛、帰郷意欲を喚起する。
- ③当地域の学校に留学している学生や社会人との交流の場を作る。

そこで、飯塚市、嘉麻市、桂川町を中心にして、市町村合併10周年を契機に実行委員会を組織し、別添、事業計画に基づき、標記「遠賀川上流古代まつり～ヒミコを捜そう～」開催に向けて取り組みを進めています。

遠賀川上流古代祭～「ヒミコを捜そう～」

実行委員会代表 藤江 文雄

卑弥呼（ヒミコ）と不彌国について

生きていた時代（BC239年 魏へ遣使を送った年数から推測）

中国の魏の国の歴史書：西暦220年から280年の間「魏・呉・蜀」三国の興亡を記録している文献が「三国志」です。

この三国志は「魏書：巻3冊」、「呉書1冊」「蜀書1冊」からできています。その中の「魏書」の第3冊の末尾に「魏書巻三〇烏丸鮮卑東夷傳第三十倭人の条」という二千文字足らずの記録があります。

この条文をわが国では「魏志倭人伝」とよんでいます。この条文の中に「邪馬台国」や「卑弥呼」のことが書かれています。この時代には未だ「日本」という国は成立していませんでした。そのため、中国では現在の日本のことを「倭国」と呼び、そこに住んでいる人々を「倭人」と呼んでいました。

そこで「邪馬台国」はどこにあったのか、「卑弥呼」はどこに住んでいたのかなど、古代の謎は江戸時代から多くの研究者が考えを出し合ってきていますが、残念ながらいまだに納得させる決定的な結論は出てきていません。

魏志倭人伝に書かれている邪馬台国や卑弥呼について紹介します。

1. 邪馬台国はどこに・・・魏志倭人伝によると

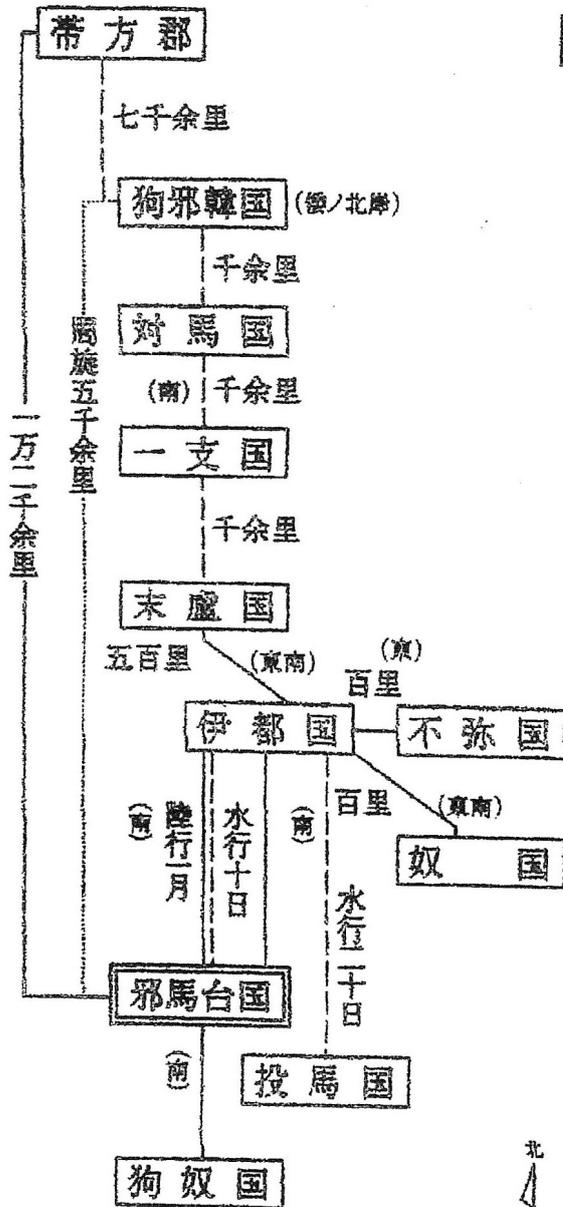
- 帯方郡から狗邪韓国まで半島の西海岸に沿って七千里あまり。
- 狗邪韓国から海を渡って対馬国まで千里あまり。
- 対馬国から壹岐国まで海を渡って千里あまり。
- 壹岐国から末廬国まで海を渡って千里あまり。
- 末廬国から伊都国（糸島付近）まで東南に陸路で五百里。
- 伊都国から奴国（博多付近ではないかと）まで東南に陸路で百里。
- 奴国から不彌国（フミ国）まで東へ陸路で百里。ここから先は方角、距離等不明瞭。
- 不彌国から投馬国へは南方向に海路で二十日。
- 不彌国から邪馬台国へは南方向へ海路で十日、陸路で一ヶ月ほど。
- 帯方郡から邪馬台国の距離は一万二千里あまり。

※魏志倭人伝に記載されている不彌国はここ嘉穂盆地一帯ではないかと考えられます。

※関西地方で発掘されている大きな古墳は5世紀以降古墳時代のものであって、当地域が倭国の一大工業地域であったころより200年以上以降のことです。（まだ日本国は成立していない）

◎卑弥呼はここ遠賀川流域に去来し、支配していたことは充分推測されます。

(A) 放射式コース



(B) 順次式コース

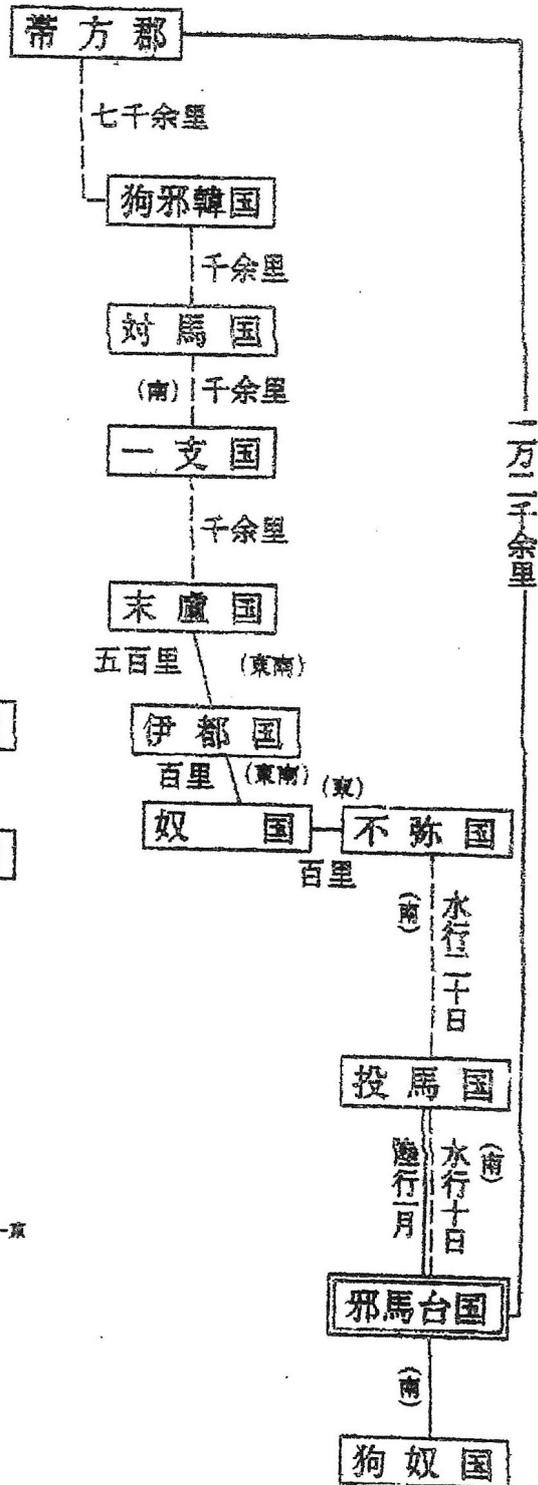
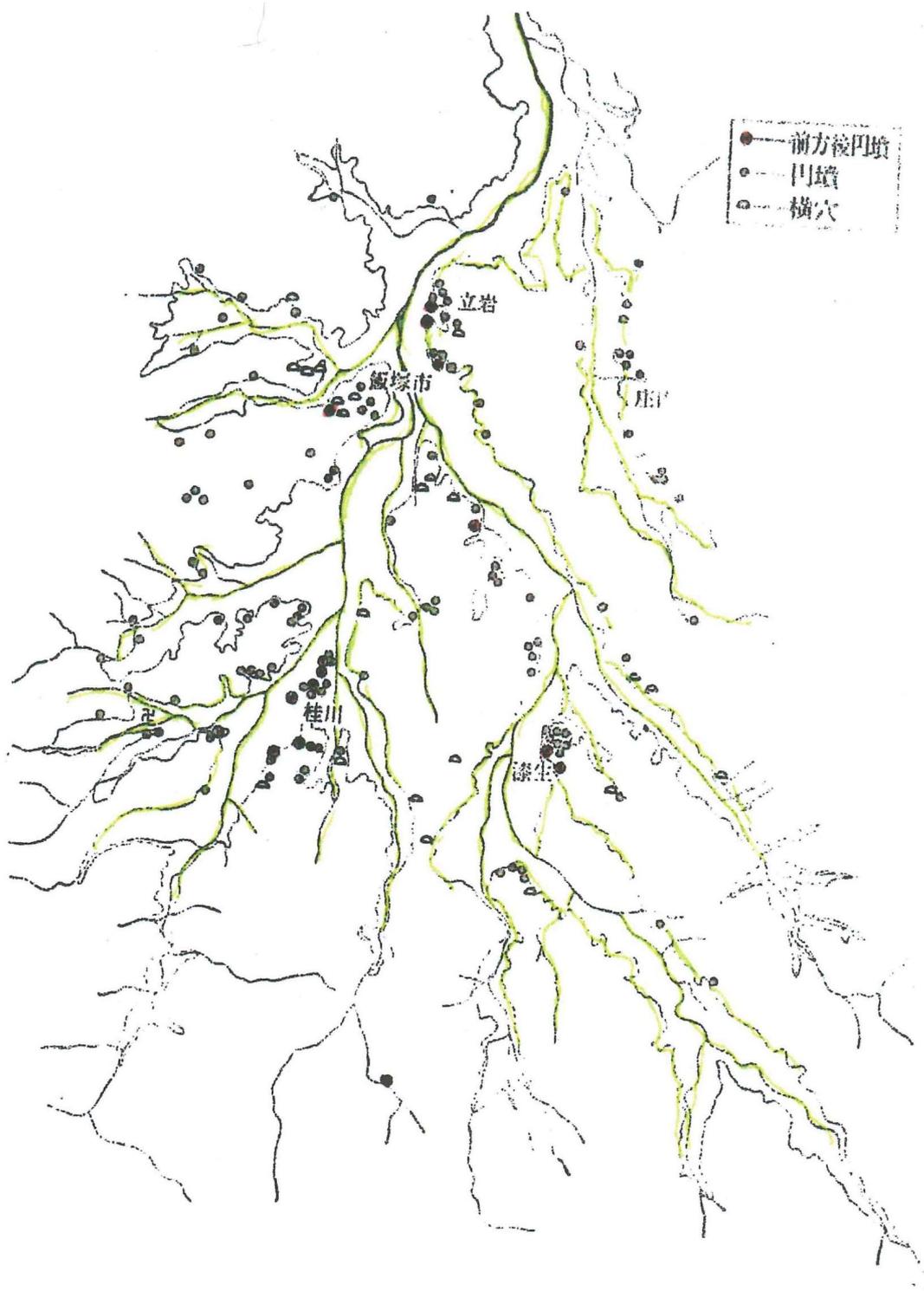


図4 伊都国中心の放射式コースと順次式コース

(岡本健一「邪馬台国論争」による)



嘉穂盆地の古墳分布図

六

遠賀川流域における縄文遺跡の分布は、ほとんど全域に普遍的に上流の山間部にも浸透を示しています。

03. 住み続けたいまち・住んでみたいまち 勝手に提案研究会 会長：六谷 拓也

「学生が多く住んでいるだけのまち」から「学生を当事者とする」取り組みに加え、「地域の方々が当事者となる」ような取り組みを通じて、いづかのまちを「住み続けたいまち・住んでみたいまち」にしていけるよう、語り、研究し、そして勝手に提案していきます。

※(公社)福岡県建築士会飯塚地域会、近畿大学教員・学生及び市民が連携して活動しています。

第 34 期は、コロナの状況により学生と一緒に活動に制限がかかるなどしたため限定した活動となってしまいましたが、「飯塚つなごうプロジェクト」を今後大きな変化があると思われる「菰田地区」で進めました。

「江藤石油株式会社」様の敷地内 ガソリンスタンドの裏側にある使われなくなっていた会議室棟



菰田地区の地域交流拠点をつくる (菰田地区を元気にしたい！)

この場所だからできること、この建物だからできることをみんなで考えていきます



KOMODA
菰田のこもり場

「菰田のこもり場」PROJECT

～歴史ある場所、歴史ある建物を活かして
新たな役割を付加したい～

菰田地区の地域交流拠点をつくる

コロナ禍の中、市民・企業・建築士・大学生がつどい、この場所だからできること、この建物だからできること、どのような場所にすべきなのか、どのような人たちに使ってほしいのか・・・ガソリンスタンドとの関係、親和性なども考慮しながらアイデアを出し合い議論していきました。



いろいろな使い方ができる空間（フレキシブル性・いろいろなくつろぎ方）
多世代が交流できる空間（特に地域の子どもたちにも来てほしい）
ガソリンスタンドとリンクした使い方の提案 e.t.c

議論した内容をもとに、大学生(近畿大学小池研究室)が構想をねりデザイン案をプレゼンしてくれました



様々な目的を持った複数人が自由に利用することを想定した可変性のある空間提案

～可動式の家具や木製デッキを利用し、空間のつながりと自由度を両立～



2021年12月からは、大学生のプレゼン内容にそって、いよいよ改修工事を開始しました。

まずは、内装（天井・壁・照明器具）の改修工事（第1段）です

飯塚市菰田地区の(株)江藤石油様 会議室を地域交流の場へとリノベーションする「菰田のこもり場プロジェクト」を、近畿大学小池研究室所属の大学院生、大石竜也くん・内直人くん・枋迫柊くんを中心とした近畿大学学生との協同によりすすめています。

近畿大学学生による改修提案内容にそって今後の作業スケジュールを考慮しつつ、少しずつですが学生の手により工事がすすんでいます。

① 天井の塗り替え（2021.12.14～18）

天井材は、既存のものを活かし塗装を行いました。



② 照明設備の取り替え（2021.12.17）

古くなっていた照明器具をLED器具へと取替た上、スポット照明を追加で設置しました。

（工事は電気設備業者に依頼）



⇒ スポット照明を暖色系のものとしてやわらかい雰囲気になりました。

③ 壁面の塗り替え（2021.12.28～2022.01.08）

壁面下地補修の上、塗装を行いました。奥側の壁は、黒板塗料を塗ることにより書き込める壁として活用できるようにしています。（下地に鉄粉を含んだ塗装をしているので、磁石も引っ付きます！）



天井・照明設備・壁の改修完了

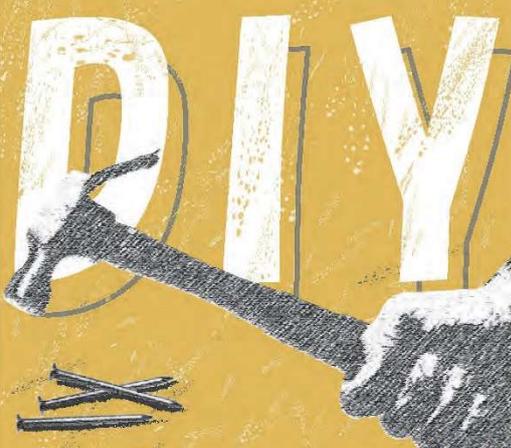
寒い中、学生たちが頑張ってくれました！お疲れ様でした！！



工事前と比べると雰囲気が大きく変わってきました。
今後も引き続き作業を行う予定です。
どのような仕上りとなるのか、とても楽しみです。
(今後の予定：テーブル・イスのワークショップ検討、
カシマ製作所様とのコラボ検討、木デッキ材の搬入など)

内部の改修(第1段階)を終え次のステップとして、地域の子どもたちに手伝ってもらい、「菰田のこもり場」で使用していく家具を作製しました。

菰田のこもり場
家具製作イベント
Kusuda no Komoriaba
Furniture Making
2022



2022.3.20 SUN

前半 13:00 ~ 15:30
後半 13:30 ~ 16:00

参加無料
小学生対象
定員 前半5人
後半5人

菰田のこもり場プロジェクト

企業・学生・自治体が連携して「菰田のこもり場」という地域コミュニティ活動の場をつくるためのプロジェクトです。そこで今回のイベントでは、「菰田のこもり場」で使う家具の制作を地域の子どもたちと一緒に行うことで地域の皆様と一緒に「菰田のこもり場」をつくってほしいと考えています。これからの「菰田のこもり場」では、ドローン体験教室やアンガーマネジメント教室などの講習会や映画観賞会などのイベント活動が行われていきます。

Program

- 1 本だなづくり
- 2 ミニ黒板づくり
- 3 その他 ドローン体験 映画観賞会など

※制作した本棚は、こもり場で使用するため本棚の持ち帰りはできません。

こもり場 完成イメージ

大学生が制作のサポートから遊び相手まで

<企画>

- ・NPO法人社労協で徳島 菰田老健づくりセンター
- ・新井ゼミ 徳島大学 徳島研究会
- ・アテアテ株式会社
- ・徳島大学 環境工学部 環境・アパレル学科 小川研究室

<後援>

- ・(公社) 徳島県福祉士会徳島地域会
- ・有限会社大谷建設設計事務所
- ・有限会社創樹屋 株式会社ブクレスト
- ・イヌとネコの里 徳島県社会福祉協議会

(お申し込み)

(お問い合わせ)

菰田 田舎：大谷
Tel : 0918-22-7880
E-mail : te-in@cogeto-kk.co.jp
※随時変更あり



人とのつながりを感じられる、地域コミュニティの場づくりを。

「学校行事が出来ない中、子供が作業している姿を久々に見ることができた」

えとうせきゆ ホームページより転載(一部を抜粋)



人との繋がりを感じられる、地域コミュニティの場づくりを。「学校行事が出来ない中、子供が作業している姿を久々に見ることができた」

♡ 9

えとうせきゆ
2022年3月28日 22:12



こんにちは！えとうです。

すこしずつ、暖かい日に冬の終わりをを感じる近頃ですが、朝夜はやはり冷えますね。コロナだけでなく寒暖差で体調を崩さないように、よく食べ、よく寝て、桜が満開の季節を楽しみましょう！

さて、先日3月20日。江藤石油（株）の敷地内にある会議室で、**菰田のこもり場「家具製作イベント」**を開催しました！

使われなかった空間に笑顔が生まれるまで

創業90年の弊社には複数の建物があるのですが、所々で老朽化が進み、この会議室は特に使われていない空きスペースになっていました。そこで、昨年からは近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科の学生によるデザイン案や活用案を元に、会議室を「こもり場」として飯塚市・菰田地区のコミュニティの場へとリノベーションする取り組みを始めています。近畿大学をはじめ

とする地域の大学と住民、（公社）福岡県建築士会飯塚地域会が協働し、地域づくりに取り組むプロジェクト「筑豊ゼミ 勝手に提案研究会」の一環です。この筑豊ゼミは、NPO法人住学協同機構「筑豊地域づくりセンター」の中の一つの取り組みであり、地域の中には「地域を学習する場」「意見交換の場」「交流の場」、恒常的な運営基盤として“地域づくりセンター”的な組織が必要、という趣旨のもと、広く住民の意見を取り入れながら設立され、様々な場で活動を広げています。

飯塚市には、九州工業大学情報工学部、近畿大学産業理工学部、近畿大学九州短期大学の3つの大学があり、福岡県内でも有数の学園都市なんです。産学官連携のコーディネートを行う福岡県立飯塚研究開発センター、飯塚リサーチパークの設立、飯塚市でのインキュベーション施設として新産業創出支援センターを設置するなど研究開発と産業振興の拠点が集積し、情報都市にもなりつつあります。

そんな中、今回は「子どもたちが集まってくれるような空間作りを一緒にしたい」という思いから、こもり場で使用していく家具を大学生7名、小学生6名で作製。保護者や大人たちも一緒になって、「本棚」や「ミニ黒板」を作りました。



皆、夢中で作業をしています



会議室をリノベ中

感染対策や安全面の配慮もしながら、1日かけて皆で作業をしました。当初は大学生も子供たちも初対面で緊張の面持ちでしたが、一緒にトンカチや釘を使って作業をしていくうちに、自然と会話と笑顔が溢れるようになりました。

た。会議室の外では、ドローン操縦の体験会も実施。初めて飛ばすドローンに、みなさん興味津々でした！



自分で作った家具には愛着も湧きますね



ミニ黒板作ったよ！



ドローン体験

る会社として、何かしらこの飯塚で暮らす方々の日常にちょっとした楽しみや安心が生まれる場になれば。そんな思いもあって、このプロジェクトが進んできましたが、出来上がった場とそこに生まれる笑顔を見て、新しい命を吹き込んでもらい、豊さをもらったのは私たちの方だった、と実感しました。



テラスもできました

近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科の学生たちと、筑豊ゼミの皆さんが中心となり企画、リードして下さったお陰で大いに盛り上がりましたが、地域とは、様々な人の目線を交えること、人と人のつながりの連鎖で少しずつ育っていくのではないかと改めて考える機会になりました。この「菰田のこもり場」が、今後少しでも「地域の人々の間でコミュニケーションが生まれる場となれば」私たちはそう願いながら、これからも大人と子ども、学生同士、様々な人が新たな学びや交流を深めていけるような取り組みをしていきたいと思っています。



来季(第 35 期)も引き続き「菰田のこもり場」のブラッシュアップに取り組んでいく予定です。

日本の演劇界の風雲児と呼ばれた劇作家「つかこうへい」は、筑豊の嘉麻市出身です。筑豊の人々に「つかこうへい氏の作品」（小説、演劇、映画）が身近に親しまれ、筑豊の若者たちの文化意識が向上し、心豊かな生活に結び付くよう、つか作品や筑豊の豊かな文化を学ぶ場となるよう活動をしていきたい。

会 報

つかこうへいと筑豊研究会

No.10

つかこうへい氏を忍ぶ

6 度目の「すかぶら忌」

直木賞作家で脚本家・演出家として1970～80年代にかけてつかブームが巻き起こし、「演劇界の風雲児」「つか以前つか以後」などといわれて、演劇界の寵児として活躍したつかこうへい氏。2010年7月10日に亡くなってから、今年で12回目の命日でした。

つか氏のご両親が納骨されている嘉麻市の善照寺において、2016年に同級生やつかさんと親しかった方々やつかファンが集い、7回忌を開催しました。それをきっかけに、その後、「つかこうへいと筑豊研究会」を結成。以後、7月の命日に「すかぶら忌」を継続、開催してきました。

昨年今年もコロナ禍ではありましたが、7月11日（日）に善照寺にご協力を頂き、「すかぶら忌」を無事開催することができました。

この日、筑豊ゼミから六谷代表をはじめ近畿大学産業理工学部の元学部長の菊川清先生、そして旧山田高校の元教師の永吉博義先生も太宰府から駆けつけて頂き、参加者は7名でした。

善照寺の住職で元山田高校教授の西原成之先生に、お経をあげていただき、供養をした後、今年映画「二代目クリスチャン」をみんなで鑑賞しつかこうへい氏を忍びました。



「二代目はクリスチャン」のパンフレット

<「二代目はクリスチャン」あらすじ>

神戸の六甲山の中腹にある聖サフラン協会で、天龍組組長の告別式がしめやかに執り行われている。オルガンで賛美歌の伴奏をしているシスター今日子（志穂美悦子）。

そのシスターに惚れているダメヤクザ2代目の天竜晴彦（岩城滉一）。シスター今日子の気を引くために毎日教会のブタ小屋の掃除に余念がない。また子分全員をクリスチャンの洗礼を受けさせて、ヤクザ仲間からは馬鹿にされ、右の頬を打たれば左の頬を出すという教えを守り、コテンパンにやられる始末なのだ。

一方、そんなヤクザ晴彦の姿を見てイライラしているのが、神戸署の神代刑事（柄本明）。神代は晴彦と幼馴染で、恋仇だ。おまけに実家が天台宗のお寺で、シスター今日子と結婚したかったのだが、宗教の厚い壁に阻まれてしまう。シスター今日子は、嵐の夜、宿命的な出会いをした英二（北大路欣也）という男に秘かな恋心を抱き続けていた。

ヒロインを演じる志穂美悦子はアクション女優から、演技派女優として新境地を開いた作品といわれている。

また、つかこうへい氏はこの作品について「作家というのは最終的に、いつも『ロミオとジュリエット』を書いている。どんなに科学が発達しても男と女の関係は永遠の謎であり、しかも男女の関係を解き明かすためにしがらみをつくり、そのしがらみが強ければ強いほど、男女の関係は純粋化する」と語っている。この作品では、ヤクザ、刑事、宗教といった究極で、複雑な男女関係が面白く描かれている。

🌸 製作中の数々のエピソード

この映画は角川春樹事務所創立10周年作品として、井筒和幸監督により1985年に製作された。その折に、つか氏の脚本にはト書きがなく、映画には使えないものだったため、井筒監督は映画用に脚本を修正。その脚本に怒ったつかこうへい氏はパンフレットから自分の名前を外してくれと不満をあらわにしたという。

また、1985年5月28日に、東映京都撮影所で製作開始されたのだが、前年の1984年に山口組と一和会の抗争（山一抗争）が関西地方で発生、継続しており、市民団体から当映画に対しヤクザ映画製作反対の運動も起きたという。

さらに、角川映画はこの映画の前売り券を日本生命に押し付けていて、日本生命が前売り券を配布していたファミリー層の観客のために、角川春樹氏から井筒監督にストリップショーのカットの依頼があり、井筒監督は「ストリップショーのシーンのカットは残念だったが、それ以外は自由に楽しい撮影ができた」と語っている。

🌸 映画を見た人の感想

元山田高校教授の永吉先生は、つか作品は福岡市で芝居『熱海殺人事件』（2019年北区つか劇団の福岡公演）と今回の映画の2本だそうですが、『2代目はクリスチャン』を観た感想で、「戦後は筑豊でもヤクザが刀や銃を振り回し抗争事件が頻繁に起こっていたので、そういう時代背景を作品にしたんだろうな」と語られたことが耳に残っている。またヤクザと刑事、教会と寺という究極で相反する複雑な人間関係を舞台にしているのがつか作品らしいなと思った。

2021 年度「すかぶら忌」の記事紹介

西日本新聞(7月27日)に掲載されました



2020 年度「すかぶら忌」毎日新聞(7月11日)に掲載されました。



ハ

◆来年の13回忌に向けての取り組みについて

来年はつかこうへい氏が亡くなって早13年目。研究会では小倉区にある今年創業82周年を迎えた映画館「昭和館」と北九州芸術劇場に、つかこうへい作品の特集などのイベントの協力をお願いしております。東京の紀伊国屋劇場や大阪等では毎年命日につか氏の作品が上演されています。来年は13回忌で、大々的な取り組みが期待されます。福岡・筑豊でも、つか作品が話題となり、筑豊の若者たちにつか芝居の面白さを映画や芝居で作品に触れて、楽しさを肌で感じてほしいのです。

◆「幻冬舎」社長の見城徹さんと劇作家の横内健介さんの対談で、「つかこうへいの演劇の原点」が語られていますので、紹介します。

<https://audee.jp/voice/show/35649>

◆飯塚市の副市長・梶原善充さんが9月18日逝去されました。梶原氏は元山田高校の同級生で、つかこうへい氏の一番の理解者で、研究会の協力者でもありました。つか氏の高校時代から青春時代のエピソードを生前に話していただきました。今後、会報で紹介したいと思っています

2020~2021 年

活動報告

昨年の新年早々に、友人とパリ旅行を楽しんで帰国すると同時に、中国からコロナウイルス問題が世界中に瞬く間に拡大。1月下旬に日本に寄港してきたクルーズ船ダイヤモンドプリンセスから集団感染者が発覚し世界中が恐怖に包まれました。

人から人へと感染することから、旅行や、外出、外食など日常生活が制限され、公共の施設等も閉鎖されるなど、昨年、今年と「つかこうへいと筑豊研究会」活動も休会状態で会報も出せませんでした。遅くなりましたが、2020~2021年の活動報告をさせていただきます。

2020 年度の活動

- ★第1回 映画上映会
4月24日(土) 13:30~
映画「蒲田行進曲」
場所：王塚装飾古墳館
参加者 10名
- ★「すかぶら忌」
7月10日(土) 11時~
場所：善照寺(嘉麻市)
参加者 7名

2021 年度の活動

- ★「すかぶら忌」
7月11日(日) 11時~
場所：善照寺(嘉麻市)

●来年は13回忌です。

☆つかこうへい氏の作品を寄贈

3年前から「つかこうへいと筑豊研究会」では、エアクレーン出版社のご協力を頂き、筑豊の図書館や高校に、つかこうへい氏の作品を寄贈する活動をしてきました。今年も、以下の図書館や劇団に寄贈してあります。昨年、滋賀県に引越された堤隆一郎氏より寄贈先を紹介していただきました。

- ★北九州市芸術劇場 芸術文化情報センター
- ★大阪現代舞台芸術協会
- ★滋賀県立図書館 サービス課
- ★劇団紙町 クローズライン(鹿児島県)
- ★大分県立図書館 郷土情報室(手続中)

※「すかぶら忌」とは？

つかこうへい氏(嘉穂郡嘉穂町(現嘉麻市)出身)の7回忌(2016.07.10)に同窓生やファンが集まり「つかこうへい氏を偲ぶ会」を善照寺(嘉麻市)にて開催。その後、毎年7月に偲ぶ会「すかぶら忌」を開催してきました。

「すかぶら」とは筑豊の方言です。過酷な炭鉱労働者の中で噂話や下ネタなどで人を笑わせ気持ちを和ませるが、働くことを好かず、ぶらぶらしているのが「すかぶら」といわれたらしい。つかさんもこの「すかぶら」についてよく語り、周りを笑わせていたという話も残っています。

「つかこうへいと筑豊研究会」 次期(第 35 期)の取り組み

13 回忌の取り組みを中心に活動をしていきたいと思っております

2022 年 7 月 10 日はつかこうへい氏の 13 回忌ですので、13 回忌の取り組みを中心に活動をしていきたいと思っております

小倉にある昭和映画館と北九州芸術劇場にイベントをお願いしており、昭和館は快く協力をしていただけそうですが、芸術劇場は、もう何年も前から予定が入っており、つかさんの演劇を入れることはできないが、昭和館とも連絡を取りながら、お力になりたいといってくださいしております。

福岡アジア映画祭を長年取り組んでこられた梁木先生などにご協力を、お願いしたりして、取り組んでいきたいと思っております。



2021.04.24 第 1 回 映画上映会の様子



2021.07.10 すかぶら忌(善照寺)の様子

05.情報発信/データデザイン研究会

会長：吉田 直樹

1).筑豊ゼミ・筑豊地域づくりセンターのウェブサイトのリニューアルと保守・管理：

より見やすく情報を容易に入手できるようリニューアルを進めるとともに、更新・管理作業を行いWeb サイトの充実化を図る。

2).「つなぐカフェ@飯塚」を活動拠点の一つとして、飯塚市や企業、市民との連携を図りながら活動する。

※近畿大学産業理工学部の学生（学生会員）が中心となっている研究会

令和 4 年度の活動報告

・本年度は昨年度と同様に、新型コロナウイルスの影響のため本格的な活動はできず、今後に向けた活動方針を選択する時期となりました。

筑豊地域づくりセミナー報告

今期は、筑豊地域づくりセミナー（地域社会の振興発展に関する情報の収集・提供事業）を以下のとおり開催しました。

第27回 筑豊地域づくりセミナー

2021.07.19 (月) 18:30~19:30 飯塚市役所 2階 多目的ホール

テーマ：「スポーツでまちづくり～飯塚国際車いす大会を通じて感じたこと～」

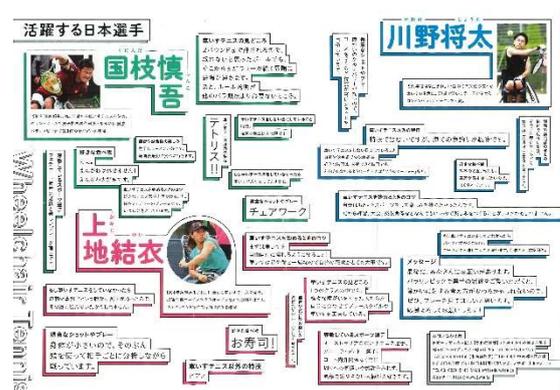
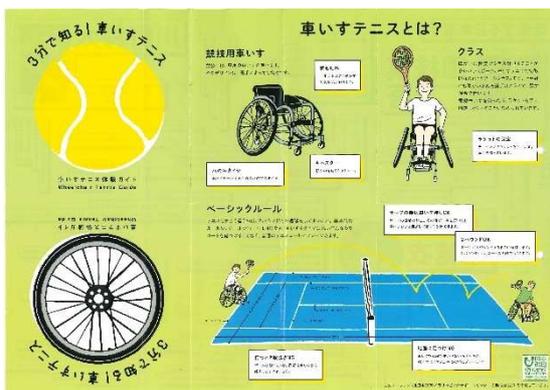
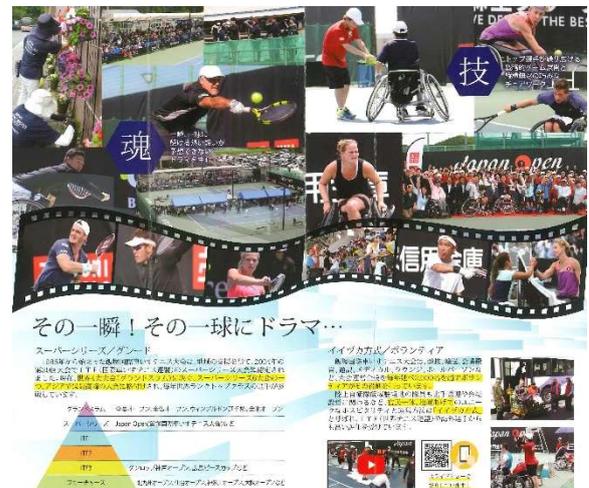
講師：前田 恵理 氏（飯塚国際車いすテニス大会会長）

内容：（講演者より）「飯塚国際車いすテニス大会」Japan Open は、毎年延べ2000名のボランティアによる「イツカ方式」と言われる運営方式で、35年間続けてきました。

この大会の内容や歴史をはじめ、障がい者アスリートの可能性、諦めない姿を紹介したいと思います。

また、スポーツ環境に恵まれた筑豊地域では、スポーツによる交流人口増が見込めるとともに、人に優しい共生社会の実現において先進的であると考えます。

スポーツによるまちづくりを皆様と考える機会になればと思います。



第 28 回 筑豊地域づくりセミナー

2021.08.27 (金) 18:30～19:30 飯塚市役所 2階 多目的ホール

テーマ：「絵本の魅力 ～大人も楽しめる絵本～」

講師：皆川 晶 氏（近畿大学九州短期大学 教授）

（梅光女学院大学院文学研究科日本文学専攻博士過程単位取得

日本人類言語学会会長（平成 27 年～））

内容：（講演者より）「絵本」といえば、子どもの読みものと思われている方が多いと思います。絵本は言葉や文章と絵で表現する本であり、子どもが初めて目にし、触れる本でもあります。絵本は赤ちゃん絵本にはじまり、文字のない絵本、言葉の絵本、物語絵本、生活・知識絵本、科学絵本、しかけ絵本などさまざまな種類があります。今回、絵本の魅力を紹介します。

第 29 回 筑豊地域づくりセミナー

2021.12.20 (月) 18:30～19:30 飯塚市役所 1階 多目的ホール

テーマ：「人の営みを中心に考える家づくり、まちづくり」

講師：豊川 裕子 氏（株式会社 豊川設計事務所 代表取締役社長 一級建築士）

内容：豊川さんは、父親が建築会社を営む家庭に生まれ、自然と建築に親しみ、自身も進学、就職は建築の道を選びました。当時は女性がほとんどいない環境で、さまざまな苦勞を乗り「人間の営みの場所」である建築で、人が最大限の力を発揮できる「人を営む」建築を念頭に地元で寄与してこられました。

今回は、その独自の経験や今後の取り組み、地元を軸に置きつつも日本や地球環境への思いを女性ならではの視点で語っていただきます。

第 34 期筑豊ゼミ 修了式次第

日 時： 2022 年 04 月 22 日(金) 19:00～

場 所： 飯塚市市民交流プラザ (つなぐカフェ@飯塚)

-
1. 開式のことば 筑豊ゼミ 運営委員長 六谷 拓也
 2. 祝辞・挨拶 NPO 法人住学協働機構筑豊地域づくりセンター
理事長 小野 正行
 3. 筑豊ゼミ研究会 紹介・第 34 期活動報告
 - ・ 市民遺産研究会
 - ・ 古代のロマンに酔う研究会
 - ・ 住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会
 - ・ つかこうへいと筑豊研究会
 - ・ 情報発信/データデザイン研究会
 4. 閉式のことば 筑豊ゼミ 事務局長 岩永 潔

以上

第34期筑豊ゼミ決算報告

第34期 筑豊ゼミ 決算報告 (2021.04.01~2022.03.31)

会費の収支				
摘要	収入	支出	残高	備考
正会員会費 (市民遺産研究会 5,000円×6名)	30,000	24,000		活動費 4,000円 × 6名
正会員会費 (つかこうへいと筑豊研究会 5,000円×0名)	0	12,000		活動費は令和2年度分を含む
正会員会費 (情報発信/データデザイン研究会 5,000円×1名)	5,000	0		
団体会員会費 (福岡県建築士会飯塚地域会)	10,000	0		
団体会員会費 (遠賀川上流古代祭り実行委員会)	0	0		
事務局経費	0	0		
【会費計】	45,000	36,000		
活動費の収支				
摘要	収入	支出	残高	備考
市民遺産研究会	24,000	0	24,000	
古代のロマンに酔う研究会	0	0	0	
勝手に提案研究会	0	0	0	
つかこうへいと筑豊研究会	12,000	5,306	6,694	活動費は令和2年度分を含む
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)	0	0	0	
事務局経費	0	0	0	
【活動費計】	36,000	5,306	30,694	
活動費支出明細				
情報関連費				
市民遺産研究会		0		
古代のロマンに酔う研究会		0		
勝手に提案研究会		0		
つかこうへいと筑豊研究会		0		
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)		0		
事務局経費		0		
研修費				
市民遺産研究会		0		
古代のロマンに酔う研究会		0		
勝手に提案研究会		0		
つかこうへいと筑豊研究会		0		
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)		0		
事務局経費		0		
消耗品費				
市民遺産研究会		0		
古代のロマンに酔う研究会		0		
勝手に提案研究会		0		
つかこうへいと筑豊研究会		0		
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)		0		
事務局経費		0		
図書費				
市民遺産研究会		0		
古代のロマンに酔う研究会		0		
勝手に提案研究会		0		
つかこうへいと筑豊研究会		4,046		DVD代
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)		0		
事務局経費		0		
雑費				
市民遺産研究会		0		
古代のロマンに酔う研究会		0		
勝手に提案研究会		0		
つかこうへいと筑豊研究会		1,260		郵便代
情報提供/データデザイン研究会 (PDD研)		0		
事務局経費		0		
【活動費支出計】		5,306		

発行：NPO 法人

住学協同機構筑豊地域づくりセンター

第 34 期筑豊ゼミ

<http://www.chikuzemi.com/>

編集：第 34 期筑豊ゼミ運営委員会

esutema69@gmail.com (運営委員長) 六谷 拓也

kiiboo914@gmail.com (事務局長) 岩永 潔